

社会資本整備審議会道路分科会 第9回東北地方小委員会
【議事概要】

1. 日 時

平成25年11月28日（木）13:00～14:30

2. 場 所

東北地方整備局（二日町庁舎） 2F 大会議室

3. 出席者

〈委員長〉

大滝 精一 東北大学大学院 経済学研究科長 経済学部長・教授

〈東北委員〉

大泉 太由子 （公財）東北活性化研究センター
調査研究部 専任部長兼主席研究員

大沼 賀世 （公財）致道博物館 非常勤学芸員
奥村 誠 東北大学災害科学国際研究所 教授

加賀谷 聡一 酒田商工会議所青年部 会員

南 正昭 岩手大学工学部 教授

渡辺 康宏 （一財）東北経済連合会 専務理事

4. 議事内容

○審議結果

- ・ 東北中央自動車道(昭和～金山)、(及位～上院内)、(下院内～雄勝こまち)の計画段階評価について、委員からの意見を事務局で検討の上、意見聴取を進めることを了承する。

○主な意見

- ・ 地域の課題解決だけでなく、国際競争力の強化を意識し、物流効率化など事業中の日沿道との連携も考慮し、限られた予算内で時間軸を意識して進めてもらいたい。
- ・ 今後、対策案を検討する際に、バイパス整備した場合は、2本の道路を管理することになるため、現道の廃止や管理移管など維持管理面も考慮しながら総合的に検討すべき。
- ・ 現道と新しい道路との棲み分けがポイント。IC配置の検討においては、トリップ長を十分検討すべき。
- ・ アンケート対象に、現道沿線に学校が立地していれば、学校関係者を入れてはどうか。
- ・ 設問3の選択肢に、道路利用者のヒヤリ体験を記入してもらおう工夫が出来ないか。
- ・ ヒアリング対象に、県トラック協会だけでなく、横手市などの近隣市町村へ範囲を広げ、当該区間を利用する物流企業を含めてはどうか。

- ・バイパス整備により、通過交通が転換するなど影響を受けるおそれがあるため、ヒアリング対象に、町の観光施設を含めてはどうか。
- ・設問4の回答数について、『複数回答可』としているが、区間毎に特に必要な機能を把握するためにも、選択数を3つ程度に限定してはどうか。
- ・回答者が世帯主だけに偏らないよう、『一番車を使用している人に記入いただきたい』など注意書きを入れてはどうか。
- ・チラシにある現道課題の見出しは、主観が入らぬよう、ニュートラルな表現とした方がよい。